

留学生の声エッセイ

別科 リン エイセン(林穎瑄)

<夢みたいな一ヶ月半>

皆さん、こんにちは。リン エイセンと申します。台湾の淡江大学から来た留学生です。大学では日本語を専攻しています。今は城西大学の別科で勉強しています。

日本に来た理由は、物心ついた頃からアニメやボカロが大好きだったからです。そして、これまで学んできた日本語を生かしたいと思います。誰かの翻訳を通してではなく、直接自分の好きな作品の世界に浸りたいと思っています。

別科の授業は台湾と同じように主に日本語を勉強しますが、こちらでは先生がすべて日本語で授業をするので、レベルが一気に上がります。実際、リスニング力は少しずつ上達していると感じます。ただ、会話力はあまり変わっていません。以前より日本語で会話する機会は増えましたが、「相手に自分の言いたいことが伝わらなかったらどうしよう」と思ってしまい、怖くてなかなか話せません。

それでも、日本に留学できるのは人生で一度きりかもしれないめったにないチャンスだから、この機会を大切にしたいです。これからはもっと勇気を出して頑張りたいと思います。



(渋谷Humaxで撮った写真)

9月日本に来てから、まだ2ヶ月も経っていませんが、もうたくさんの思い出を作りました。中学から今でもずっと好きな音楽原作キャラクターラッププロジェクト「ヒプノシスマイク」は、今年2月に映画を公開されました。最初は「絶対見られないだろう」って思っていたが、まさか9月に再上映があるとは思いませんでした。10月の初めから3週連続で土曜日に見に行きました。この映画は観客の投票によって結果が変わる仕組みになっています。全部で7つの結果がありますから、もし来年も復活上映があるなら、また見に行きたいです。



(渋谷Humaxで推しのパネルと撮った写真)

映画を見に行く以外にも、渋谷でいろいろな服を買いました。私はROJITAやSecret Honeyみたいなブランドの服がめっちゃ好きです。台湾ではそのようなスタイルの服はあまり見かけないから、つい買ってしまいました。あと、台湾ではプリクラの台数が少ないので、毎回友達と撮りたい時はわざわざ遠くまで行かなければなりません。だから、日本にいる間にいっぱい撮ろうと思っています。春休みにもし友達が私に会いに来てくれたら、絶対一緒に撮ります。



(ルームメートのれいちゃんと一緒にプリクラを撮った)

ここにいる時間はたった一年しかないから、これからも時間を無駄にしないように、日本語を勉強しながら、やりたい事にできるだけやります。生活に慣れてきたら、関西にも行きたいと思っています。これからの日々がとても楽しみです。

